

- ▶ 県産木材の利用及び県産木材製品の販路拡大に向け、令和元年度よりマーケットインによるニーズに応じた製品開発等に対して補助する制度を創設。
- ▶ 令和元年度は、県内合板工場で発生する端材を活用した木塀やバリケード等の試作品を開発。
- ▶ 令和2年度～3年度は、コロナ渦に対応したコワーキングスペース等の内装製品や、山梨県有林のFSC認証材を使用した玩具等の試作品を開発。
- ▶ 令和4年度は、木育玩具や自動車メーカーと連携したノベルティー等の試作品を開発。



□ 事業内容

やまなしの木マーケット開拓事業

- ・ 県産木材の利用拡大を図るため、県内事業者を対象に県産木材製品の試作品の開発及びその製作や展示会への出展等の販売促進に関する経費を補助
(補助率1/2)

【事業費】1,455千円（全額譲与税）

【実績】知育玩具、組立ラック、ペット用品、ミニカー等の開発

□ 取組の背景

- ・ 「山梨県県産木材利用促進条例」
- ・ 「県産木材の利用の促進に関する基本方針」



(知育玩具)



(ペット用品)



(ミニカー)

□ 工夫・留意した点

- ・ 開発製品のPR活動経費を補助対象とし、展示会出展等の費用負担を軽減することで、幅広いプロモーション活動が展開できるようにしている。

□ 取組の効果

- ・ 認定こども園と連携した知育玩具の開発により、木のやさしさやぬくもりを感じられる県産材製品が保育園等へ普及。
- ・ 学生と連携した組立ラックや、自動車メーカーと連携したミニカー等の開発により、県産材製品が普及。
- ・ 山梨県有林のFSC認証材を使用したペット用品の開発により、FSC認証製品が普及。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：60,124千円	②私有林人工林面積（※1）：58,219ha
③人口（※2）：809,974人	④林業就業者数（※2）：794人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より